

2017 Vol.4

Hiroshima Institute of Technology

Architect



目次

広工大建築会 学生部会会長挨拶	・・・ P.1
広工大建築会 会長挨拶	・・・ P.2
平成 27 年度後期事業報告	・・・ P.3
平成 28 年度前期事業報告	・・・ P.4
平成 29 年度事業計画	・・・ P.5
新任教員紹介	・・・ P.6
最新の資格情報	・・・ P.7
平成 28 年度学生の研究業績	・・・ P.8
研究室紹介	・・・ P.10
博士論文題目／修士論文題目／卒業研究・設計題目	・・・ P.12

広工大建築会 学生部会会長挨拶

第6期学生部会会長

井上 碧 Aoi Inoue
(清水研究室) (Shimizu lab)



第5期学生部会会長

川本 樹哉 Tatsuya Kawamoto
(清水研究室) (Shimizu lab)



この度川本前会長の後任として、広工大建築会学生部会会長に就任しました井上碧です。第6期目の会長を務めるにあたり、歴代の会長の活躍を模範とし、各種記念パーティや建築士・建築積算士等の資格取得支援といった、学生活動の支援を中心に一年間精一杯頑張りたいと思っています。至らない点も多々あるとは思いますが、よろしくお願いします。

いきなりですが、自身の中でこの一年間を振り返ってみようと思います。今年度は、忙しくも充実した一年であると共に、社会人になることへの意識を高めることができた一年でした。6月から始まったゼミ活動では、新たな仲間ができ、先輩方や先生からは礼儀やマナーを学ぶことで、就職活動に対しての姿勢が大きく変わりました。夏季休業中はインターンシップに参加しました。実習中では、普段得ることのできない貴重な時間を過ごすことができ、仕事に対する責任や苦勞を感じました。それと同時に、就職試験対策としてSPIの問題集を10冊以上こなしました。学生生活の中で最も大変な期間であり、精神的にも苦しい時期でした。今となっては、あの苦勞があったからこそ、自身を大きく成長させることができたと思っています。しかしながら、あの日々を一人で乗り越えたわけではありません。ゼミ仲間や友人、先生方、先輩方が支えてくれたからだ実感しております。この経験を活かして、広工大建築会学生部会をこれまで以上に良いものとしていけるように、日々精進して参りたいと思います。

今後とも、広工大建築会学生部会をより一層活性化したいと考えています。どうかご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

広工大建築会学生部会会長を前任しておりました川本です。一年前、私は上石先輩の後任として学生部会会長という重責を担う立場となりました。私自身、会長に任命されることは大変喜ばしいことではありましたが、初めての経験という事もあり、相談役の先輩を始め、学生部会のメンバー、先生方の助言・協力を得て、職務を全うして参りました。現在の自分があるのは、先輩や友人の支えがあったためであり、本当に感謝しております。就任してからの一年間は、卒業記念パーティー、新入生歓迎パーティー、建築士実力試験等を企画・実施して参りましたが、後輩達が伝統を引き継いで学生部会を更に発展させてくれることを期待しております。

ここからは、私がこの学生生活並びに、学生部会での経験を通して学んだ事について話していきたいと思います。正直な所私が大学に入学してから、2年生の間までは弛みきっており、このままで社会に出てから通用するのだろうかと思案することも多々ありました。しかし、3年生に清水ゼミという環境に身を置き、先輩方からの指導を受けたり、学生部会の経験を通すことで大きく成長することができたと考えます。その結果、自分が一年生のころでは考えられなかった大きな会社に内定を頂くことができました。それらの経験から私が学んだ事を最後に書きたいと思います。“鶏口牛後など気にするな。なるべく高いレベルに身を置け”

最後に、在学生の皆さんが御活躍し、学生部会がその手助けとなることを心から願い、前会長の挨拶とさせていただきます。

広工大建築会 会長挨拶

1997年 土木工学科建築工学コース卒業
広工大建築会 会長 三好 征一
(大旗連合建築設計株式会社勤務)

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。5年前より、退官された佐藤立美先生から引き継ぎ、広工大建築会の会長をさせて頂いています。

平成20年5月に、平成5年入学からの工学部・土木工学科、建設工学科の建築工学コース科の卒業生、および建築工学科卒業生、教職員を対象とした、建築工学科系同窓会「広工大建築会」が設立しました。同じ教育環境で育った卒業生として、結束を図りたい、そして建築・環境系学科同窓会「五三会」と連携や親睦を図り、広島工大『建築』の伝統も守りたい。これが広工大建築会設立の目的です。

昭和40年に広島工業大学工学部建築学科が開設されて50年以上が経過しました。この伝統のある建築系学科の同窓会として、さらなる発展に寄与していきたいと考えています。

本同窓会では、広島本部を中心に、平成23年に関東支部、関西支部を設立し、平成24年に学生部会を設立しています。学部生から卒業生まで、幅広い交流を深めていけるよう活動しております。就職先が、関東・関西に近い方は、支部にて交流を図れると思いますので、是非ご連絡ください。

広工大建築会が設立されて9年余りですが、大学の先生方を除けば、まだ40代前半の方々は少なく、20代、30代の若い人がほとんどの会です。これから、各分野でさらなる飛躍をされる方々がほとんどだと思います。私の知る限り、一級建築士を始め、構造設計一級建築士、さらには、建築基準適合判定資格者（建築主事）の資格を取得されている方がいらっしゃいます。

一期生が卒業して20年余りの間で、各分野ですばらしい活躍をされている方が多数おられます。『建築』という分野の中で、同窓会を通じてお互いの情報を交換し、親交を深めていけると思っています。卒業されて、就職し、いろいろな思い、考えることが増えてくると思います。その悩みや相談事があり

ましたら、是非、この同窓会の集まりを利用して、卒業生と親睦を図りに来てください。そのような、温かい同窓会を目指しています。

同窓会では、卒業生の建築業界での活躍促進を目的に、「建築技術者資格奨励制度」として、一級建築士、一級建築施工管理技士、一級管工事施工管理技士、建築設備士、技術士を取得されました会員に対して、報奨金を交付しております。毎年、総会の時に表彰を行っておりますので是非ご連絡ください。

毎年、総会は、4月末頃開催をしています。各行事内容は、ホームページにてご案内しています。

(<http://hitkenchikukai.com>)

この度、平成29年3月をもちまして、高松隆夫先生、清田誠良先生が退官されます。長年にわたり、ご指導いただき、本当にありがとうございました。これまでのご功労に敬意を表し、感謝申し上げます。退職後も、末永いご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。



創立8周年記念パーティー集合写真
(平成28年4月24日開催)

平成 27 年度後期事業報告

1. 卒業記念パーティー

学生会員の卒業を祝って、学生会主催の卒業記念パーティーを行った。

期 日：2016 年 3 月 19 日（土）13：30～15：00

会 場：広島工業大学 4 号館 1 階 アベベ食堂

内 容：学生会の準備により、昼食をとりながら懇談ののちビンゴ大会を行った。

2. 建築会賞

卒業記念パーティーにて、学業を優秀な成績で収めたことを認め建築会賞を与えた。

対象者：今村 佳奈（福田研究室）



パーティーの様子



建築会賞授与の様子

3. 二級建築士実力試験

学部 4 年次生を対象とした二級建築士実力試験を実施した。二級建築士は建築工学科を卒業後、すぐに受験できる資格のため、学生のうちに合格点を獲得できるだけの実力を身に付けておくことは非常に有意である。出席者が少ないため、次回は情報を拡散し多くの学生が参加することを目指す。

期 日：2016 年 3 月 28 日（月）9：00～16：00

会 場：広島工業大学 西 4 号館 301 号室

出席者：18 名

合格者：郷原 良太（高松研究室）



実力試験の様子

平成 28 年度前期事業報告

1. 第五回学生部会総会ならびに懇親会

第五回学生部会総会および新入生歓迎パーティーを兼ねた懇親会を行った。

期 日：2016 年 5 月 9 日（月）17：00～17：30

会 場：広島工業大学 アベベ食堂

出席者：124 名

議 事：1) 2015 年度事業報告
2) 2016 年度役員について
3) 2016 年度事業計画（案）



川本会長挨拶



懇親会の様子

2. 一級建築士実力試験

学部 4 年次生を対象とした一級建築士実力試験を実施した。

期 日：2016 年 10 月 22 日（土）9：00～17：00

会 場：広島工業大学 西 4 号館 301 号室

出席者：4 名

合格者：なし

3. 資格推奨制度

第五回学生部会総会ならびに懇親会にて、二級建築士実力試験の合格者および建築積算士の資格取得者の表彰を行った。

対象者：郷原 良太（二級建築士実力試験，建築積算士，高松研究室）

勝部 貴大（建築積算士，福田研究室）

奥井 葉月（建築積算士，高松研究室）

杉 美侑（建築積算士，高松研究室）

表彰日：2016 年 5 月 9 日（月）

平成 29 年度事業計画

1. 学生部会総会ならびに懇親会（5月）

平成 28 年度学生部会総会を開催し、昨年度事業報告、今年度事業計画の公表を行う。総会後には、新入生歓迎パーティーを兼ねた懇親会を開催する。

2. 一級建築士実力試験（8月）

学部 4 年次生を対象とした一級建築士実力試験を実施する。合格者には表彰を行う。

3. 二級建築士実力試験（3月）

学部 3 年次生を対象とした二級建築士実力試験を実施する。合格者には表彰を行う。

4. 卒業記念パーティー（3月）

卒業式後に卒業記念パーティーを開催する。

5. 資格推奨制度

二級建築士、建築積算士を取得した会員を、学生部会懇親会または卒業記念パーティーで表彰する。

6. 会報誌作成

2016 年度の活動内容および行事等をまとめた会報誌を作成する。

新任教員紹介



建築工学科 助教 山西 央朗

平成28年4月1日付けで、広島工業大学 工学部 建築工学科 助教に着任いたしました山西央朗です。専門は、鋼構造建築物の耐震安全性に関する実験的研究を主軸としたもので、耐震・制振設計の合理化を目指した研究をしております。また、講義は鋼構造と構造力学を担当いたします。

出身は山口県ですが、物心付いたころより広島工業大学近郊で育ち、高校は広島工業大学高等学校へ通い、大学・大学院前期・大学院後期課程を本学に在籍しておりました。大学院卒業後は、研究員（ポストドクター）を広島工業大学で2年間、東京工業大学で2年間勤め、共に実験施設に恵まれた環境でしたので実験に没頭し、研究者としての理念を形成できた貴重な期間でした。その後、助教として広島工業大学に3年間所属し教育者としての志を形成できた大切な日々を送れました。

広島工業大学所属時は、高松先生と玉井先生（現長崎大学教授）の下で数多くの構造実験を実施させていただき、実験から物理現象の本質の見定め方、技術開発の工程を通して新しいアイデアを実現する術を学びました。

また、東京工業大学所属時は、東京工業大学 教授 笠井先生の下では、東日本大震災の地震被害調査として高層・超高層建築物の地震時加速度記録波の解析の補助をさせていただき地震時構造物の振動の見方を学び、また、日本建築学会の鋼構造制振設計指針編集員の一人として採用いただき、設計技術確立のための理論の一般化の難しさなどを勉強させていただきました。

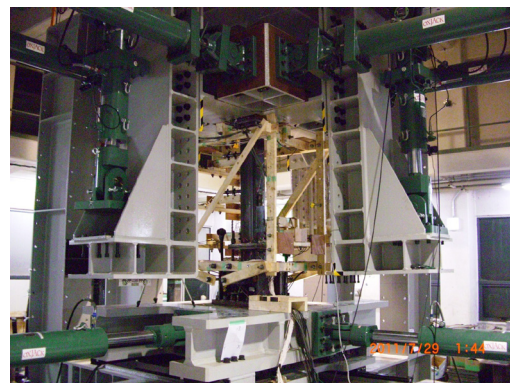
広島大学所属時は、初めて教員として鋼構造などの講義を受け持つことになり、手間取ることもありましたが、自身の専門領域を担当させていただいて、充実感に満ちた日々を送ることができました。

最後になりますが、私が現在の職を志したのは、兵庫県南部地震での地震被害を見て、強い構造物により被害を小さくしたいと強く感じたためです。本学では、講義・研究の中で、過去の地震被害を見て私が感じたことを伝えながら、技術者としての志を芽生えさせられるよう努力していきます。

教育者、研究者としてまだまだ未熟者ではありますが、今後とも、皆様からのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



広島工業大学在籍時 実験装置組立風景



東京工業大学在籍時 実験風景

最新の資格情報

学生部会会員の資格試験合格者

建築積算士

今年建築積算士の試験に4名の学生が合格した。建築積算とは、建物の設計が完了し施工に入る前に、対象建物の工事費を算定することが主目的である。近年では、社会的経済的な環境の変化から、企画段階から維持保全段階などにおけるコストの算定や評価が重要視されるようになり、現在では建築ライフサイクル全般にわたるプロセスに関与するようになってきた建築分野の業務である。

建築積算士 合格者

小谷 紗加 (岸田研究室, 学部3年生)

波多野 幹也 (荒木研究室, 学部3年生)

原田 亘基 (岩井研究室, 学部3年生)

藤本 鮎佳 (福田研究室, 学部3年生)

資格試験合格者インタビュー



藤本 鮎佳 Ayuka Fujimoto
(福田研究室) (Fukuda lab)

私は2016年度の建築積算士の資格試験に挑戦し、合格しました。私が建築積算士に合格することができたのは、建築積算の講義でご指導いただいた先生方や、試験対策をしていただいた先輩方のおかげです。本当に感謝しています。

私が建築積算士を受験した理由は、建築積算士補を取得できたという点からです。広島工業大学では、建築積算の講義があり、単位を取得し、講義の最後に実施される試験に合格すれば、建築積算士補を取得できる制度があります。建築積算士補を取得していると一次試験が免除されると知り、受験することを決意しました。また、建築積算士補取得の際に、高松先生から、積算士の勉強は図面の読み方や部材の細かい部分を知るいい機会だと教えていただきました。私は積算士の勉強を通して、図面の読み方を理解したうえで仕事に就けるという点は、大きな自信につながると感じています。

建築積算士受験対策の講義は、合計5日間行われました。5日間で全てを理解することはできないので、講義を受けた後に何度も過去問を解きました。わからないところは、先輩方に定期的に質問できる機会を設けていただきました。親切丁寧なご指導や繰り返し演習を行うことで、徐々に図面を読めるようになりました。

私は建築積算の勉強を始める前と比べて、大きく成長できたと感じています。また、就職活動において、自信にもつながったと感じております。合格発表が3月の初めということもあり、有利な武器になります。最初は、積算が何の役に立つのか、どんな業務なのか、イメージできないと思います。しかし、今では建築の生産過程のあらゆる部分で積算が関わっていることを理解することができました。積算士補を取得された学生は、積極的に資格の取得を目指してください。

平成 28 年度学生の研究業績

■ 鋼構造論文集

- ・ 小松真吾, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗: 2 層 Z 型 NC ブレース架構の地震応答低減に関する研究, 鋼構造論文集, 第 23 巻, 第 91 号, pp.53-64, 2016.9

■ 日本建築学会大会 (九州)

2016 年 8 月 24 日～26 日, 於 福岡大学

- ・ 勝部貴大, 福田由美子: 地域施設としての「道の駅」の可能性に関する研究 - 中国地方における考察, 日本建築学会大会学術講演梗概集, E-2 分冊, pp.73-74, 2016.8
- ・ 垣内良登, 清水斉, 鬼丸貞友: 広島市に建つ超高層免震建築物における地震観測, 日本建築学会大会学術講演梗概集, B-2 分冊, pp.917-918, 2016.8
- ・ 小松真吾, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗: エネルギーの釣合に基づく Z 型 NC ブレース架構の弾性地震応答予測, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.733-734, 2016.8
- ・ 栗原将平, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 小松真吾: 二軸質量偏心を有する非対称 Z 型 NC ブレース鉄骨架構の地震応答解析, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.735-736, 2016.8
- ・ 中山昌人, 清水斉, 澤田樹一郎: 鉄骨製作コスト簡易評価への 3 次元オブジェクト CAD の活用と静的設計結果, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.737-738, 2016.8
- ・ 石津祐二, 松下貴雄, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗: ノンスリップ型柱脚付鋼構造物の地震応答性状と回転バネによる再現性について その 1 ノンスリップ型柱脚の特性について, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.1177-1178, 2016.8
- ・ 松下貴雄, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 石津祐二: ノンスリップ型柱脚付鋼構造物の地震応答性状と回転バネによる再現性について その 2 回転バネを用いた解析結果との比較, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.1179-1180, 2016.8
- ・ 國井翔平, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 岩瀬貴信: 楔デバイスを用いた部分崩壊機構を形成する構造物の耐震性能 ～その 1 解析概要～, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.1195-1196, 2016.8
- ・ 岩瀬貴信, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 國井翔平: 楔デバイスを用いた部分崩壊機構を形成する構造物の耐震性能 ～その 2 解析結果～, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.1195-1196, 2016.8
- ・ KJU KJU NWE, 貞末和史, 荒木秀夫: 低強コンクリート SRC 部材の力学特性に関する実験的研究 (その 3) せん断破壊する短柱の終局強度, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-1 分冊, pp.1423-1424, 2016.8
- ・ 瀬川優斗, 荒木秀夫: 既存 RC 建物から切り出した柱部材の耐震性能評価, 日本建築学会大会学術講演梗概集, C-2 分冊, pp.577-578, 2016.8

■ 日本建築学会中国支部研究発表会

2017 年 3 月 5 日, 於 島根大学

- ・ 信東隆裕, 坂本英輔: 透水性型枠を使用したコンクリートの圧縮強度および中性化深さに関する一考察, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.33-36, 2017.3
- ・ 垣内良登, 清水斉, 坂之上泰輝, 川本樹哉, 護雅典, 井上裕喜, 中澤好道, 永谷仁成, 中村義行, 半田憲吾, 遠藤健太: 開先保護用防錆剤の塗り圧とブローホールの発生に関する研究 その 1 ブローホールの発生状況について, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.65-68, 2017.3
- ・ 中山昌人, 篠森直人, 松原祐太, 清水斉, 澤田樹一郎: 鉄骨製作コストを考慮した鉄骨骨組みの構造設計 その 2 設計方針と架構計画の違いによる 8 階建物の静的設計結果と地震応答解析結果, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.203-206, 2017.3
- ・ 瀬川優斗, 荒木秀夫, 坂本英輔: 1963 年建設の RC 建物の構造性能 その 1 コンクリートの物性, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.211-214, 2017.3
- ・ 瀬川優斗, 荒木秀夫: 1963 年建設の RC 建物の

- 構造性能 その 2 柱の耐震性能, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.215-218, 2017.3
- ・ 松下貴雄, 山西央朗, 高松隆夫, 玉井宏章: アンカーボルト降伏型露出柱脚のベースプレート面外曲げ変形と弾性回転剛性, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.267-270, 2017.3
 - ・ 岩瀬貴信, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 藤本信介: 炭素繊維プレートによる H 形鋼梁の補強工法に関する破壊防止条件: 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.275-278, 2017.3
 - ・ 國井翔平, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 岩瀬貴信: 楔デバイス付柱継手を適用した鋼構造架構の載荷実験 その 1 実験概要: 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.279-282, 2017.3
 - ・ 岩瀬貴信, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 國井翔平: 楔デバイス付柱継手を適用した鋼構造架構の載荷実験 その 2 実験結果, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.283-286, 2017.3
 - ・ 小松真吾, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗: エネルギーの釣合に基づく 1 層 NC ブレース架構の弾性地震応答予測, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.307-310, 2017.3
 - ・ 小松真吾, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗: 多層 NC ブレース架構の地震応答性状に関する研究, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.311-314, 2017.3
 - ・ 小松真吾, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 栗原将平: 非対称 Z 型 NC ブレース架構の静的載荷実験 その 1 荷重偏心がない場合の実験, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.315-318, 2017.3
 - ・ 栗原将平, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 小松真吾: 非対称 Z 型 NC ブレース架構の静的載荷実験 その 2 荷重偏心がある場合の実験, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.319-322, 2017.3
 - ・ 石津祐二, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 松下貴雄: 水平変位拘束材を設置したブレース付露出柱脚を有する門型架構に関する研究, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.323-326, 2017.3
 - ・ 石津祐二, 高松隆夫, 玉井宏章, 山西央朗, 松下貴雄: 制振ダンパーを有する露出柱脚付低層鋼構造物の柱脚挙動・設計に関する研究, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.327-330, 2017.3
 - ・ 郷原良太, 高松隆夫, 山西央朗, 玉井宏章, 石津祐二, 松下貴雄: 接着接合された水平変位拘束材を有するブレース付き露出柱脚に関する基礎的研究, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp.327-330, 2017.3
- 学内紀要
- ・ 瀬川優斗, 荒木秀夫, 坂本英輔: 1963 年に建設された建物から採取したコンクリートの力学的特性, 広島工業大学紀要, 研究編, 第 51 巻, pp.61-68, 2017.2
 - ・ 高松隆夫, 玉井宏章, 小松真吾: 多層 NC ブレース架構の地震応答性状に関する研究, 広島工業大学紀要, 研究編, 第 51 巻, pp.69-75, 2017.2
 - ・ 高松隆夫, 玉井宏章, 小松真吾, 栗原将平: 非対称 Z 型 NC ブレース架構の静的載荷実験, 広島工業大学紀要, 研究編, 第 51 巻, pp.77-84, 2017.2
 - ・ 高松隆夫, 玉井宏章, 岩瀬貴信: 楔デバイス付柱継手をを用いた部分崩壊型架構の二軸載荷実験, 広島工業大学紀要, 研究編, 第 51 巻, pp.85-93, 2017.2
 - ・ 高松隆夫, 玉井宏章, 藤本信介, 岩瀬貴信: 炭素繊維プレートによる H 形鋼梁の補強工法に関する研究 - 既存の実験データに基づいた接着剤の破壊防止条件 -, 広島工業大学紀要, 研究編, 第 51 巻, pp.95-101, 2017.2
 - ・ 高松隆夫, 山西央朗, 玉井宏章, 松下貴雄, 石津祐二: 簡易復元力特性を用いたスリップ型およびノンスリップ型露出柱脚付き鋼構造物の地震応答解析, 広島工業大学紀要, 研究編, 第 51 巻, pp.103-113, 2017.2

研究室紹介

～清水研究室～

Shimizu Laboratory



教授 清水 斉 先生

清水研究室は構造系の研究室です。

研究室の活動では、主に就職活動に力を入れており、企業に内定を頂いている先輩方の助力を得て取り組んでいきます。

先輩方の助力は面接練習、エントリーシートの添削、インターンシップなどのアドバイスなどがあります。

清水研究室の一番の特徴として、規則の厳しさがあると考えます。10時から17時までは必ず学内に居ることや授業や就職イベントには最前列で聞くこと、朝礼や夕礼を実施することで情報確認を行うなどのルールがあります。そのルールをゼミ員全体に浸透させ、守るように先輩から指導されます。

ここまで書いたことから分かるように、先輩方から意志や情報を受け継ぎ、後輩にその情報を渡して受け継ぎ続けて貰うといった、伝統を守る重要性を知ることができるゼミであるとも考えています。また、先輩から教えて頂いたことを後輩に指導するこ

とで、指導力の向上ができます。

ここまでの文で、ただ真面目で息苦しそうなゼミであると思われるかもしれませんが、そんなことは無いと付け足しておきます。やるべき事をやらなければ叱られ、嫌な気持ちになることもありますが、やるべき事をやっていけば空いた時間を趣味に使うことは十分に可能です。現に研究室の団結を高めるために、新入生の歓迎会や宮島でのバーベキュー、清水研究室のOBの方に話を伺うことができる忘年会等を企画し実行しています。さらに、研究員の誕生日パーティーや不定期で食事会、小旅行などを行っています。その中でも、宮島でのバーベキューは3年生と4年生、先生の交流が深まるとも良い機会であり、毎年とても楽しく遊んでいます。

以上が清水研究室の特徴です。少しでも気になったら一度話に聞きにきてもらって構いません。忙しくなければお相手いたします。



宮島バーベキュー時の写真



先輩による面接練習

H28年度 内定会社紹介

川本 樹哉	東急建設株式会社
木口 直弥	株式会社フジタ
坂之上 泰輝	大成建設株式会社
篠森 直人	戸田建設株式会社
田中 優斗	株式会社竹中工務店
田邊 雅洋	戸田建設株式会社
中田 有樹	株式会社奥村組
藤井 佑樹	株式会社大林組
松原 裕太	大成建設株式会社
山下 哲生	株式会社安藤・間

～福田研究室～

Fukuda Laboratory



教授 福田 由美子 先生

福田ゼミでは、地域活動やワークショップに参加しています。そうした活動を通して、1人ひとり自らの卒業研究テーマを探して主体的に行動することを心がけています。学外での活動は、さまざまな人と接する機会を与えてくれます。それによって、多くの社会勉強ができる上、コミュニケーション力や計画力などの社会に出てからも必要な力を高めることもできます。地域活動として「おおのの風」、「海老山と遊ぼう会」、「子どもをミソにまちづくりの会」、「草津まちづくりの会」という4つの活動で地域の方々と協力し、交流を深めています。今年度は、ゼミ生で草津地域の伝統行事である喧嘩神輿に参加しました。重い神輿を担いでまちなかを歩くのは、大変だった反面楽しく、ゼミの思い出の一つです。



地域活動「おおのの風」における
ダイガラ餅つきの活動様子



地域活動「草津まちづくりの会」における
草津喧嘩神輿の活動の様子



「学生によるみなと活用ワークショップ 2016」
において、ゼミ生で宇品港周辺を調査しマップを
作成しました。



ワークショップは他大の学生も参加し、その中で提案を発表しました。他大学の意見も聞くことで更に考えを深めることができました。



ゼミ生集合写真

H28年度 内定状況

(総合建設業)

清水建設株式会社	1名
株式会社竹中工務店	2名
五洋建設株式会社	1名
西松建設株式会社	1名
前田建設工業株式会社	2名
株式会社奥村組	1名
(住宅関連企業)	
大和ハウス工業株式会社	1名
大和リース株式会社	1名
(公務員)	
広島市役所	1名
(大学院)	
鳴門教育大学院	1名

2016 年度博士論文題目

高松研究室

- ・ノンコンプレッションブレース鋼構造架構の耐震性能に関する研究 小松 真吾

2016 年度修士論文題目

高松研究室

- ・ベースプレート水平変位拘束材を設置したブレース付き露出柱脚に関する研究 石津 祐二
- ・楔デバイス付柱継手を適用した鋼構造架構の耐震性能に関する研究 岩瀬 貴信
- ・偏心荷重を受ける非対称 Z 型 NC ブレース架構の変形性状に関する研究 栗原 将平

福田研究室

- ・住民の生活支援施設としての「道の駅」の可能性に関する研究 勝部 貴大

荒木研究室

- ・既存建物から採取した RC 部材の耐震性能評価 瀬川 優斗

2016 年度卒業研究・設計題目

岸田研究室

- ・まさ土の不攪乱試料の採取方法が単位体積重量試験結果に与える影響 穂田 啓太
- ・ GIS 情報を用いた避難経路の解析 平本 勝也
- ・ GIS を用いた緑井・八木地区の土石流災害の特性評価 吉村 勇人
- ・臨海埋立地盤の液状化危険度に与える諸要因 佐々木拓哉
- ・ 菅田 和輝
- ・ 広島における大規模地震の際の液状化に対する防災教育の提案 栗原 淳子
- ・ 盛土による液状化抵抗の増加とその評価方法 森元 雄大
- ・ 宅地表面に設置した排水層による液状化抵抗の増加量の解析 亀岡 直人
- ・ まさ土を用いた盛土・埋立地盤の不同沈下—不飽和土の液状化実験— 中尾 将大

荒木研究室

- ・ 端部に開孔を有する梁の耐震性能評価 川上 圭志
- ・ 河野 雄太
- ・ 多数開孔を有する梁の耐震性能評価 吉原 良一
- ・ 浜咲 光陽

・ 端部開孔を有する小梁の力学的性状	左方 涼太 長谷川 誠
・ 1963年に建設された既存建物から採取されたコンクリートの力学的特性	角 智之
・ 既存建物から採取した RC 柱の耐震性能	益永 直行 万代 英

高松研究室

・ H 形鋼梁の補強工法に関する実験的研究	奥井 葉月 杉 美侑
・ 露出柱脚の水平変位拘束工法に関する実験的研究	郷原 良太
・ 長周期地震動を受ける超高層建物の応答低減工法に関する研究	近藤 弥生

首藤研究室

・ 床吹き出し空調方式における室内気流の把握を目的とした 模型実験と CFD 解析の比較研究	小川 貴大 中村 一貴 渡邊 功平
・ 地表面の差異によって生じる気温形成の研究	勝部 洸紀 秦 大貴
・ 広島工業大学職員の防災に対する意識調査の研究	藤井 惇
・ 長時間作業時における室内温熱環境と知的生産性の相関に関する研究	杉田 洋輔 赤井 俊侑 大元 良仁

貞末研究室

・ 低強度コンクリート充腹型 SRC 柱のせん断終局強度に関する実験的研究	松本 諒 長久 大輔
・ 低強度コンクリート非充腹型 SRC 柱のせん断終局強度に関する実験的研究	山田 直成 山下 慶樹
・ シェル構造建築物における地域再生	山本真沙人 大林 遼平
・ 傾斜型頭付きスタッドのせん断強度に関する実験的研究	上浦 友弘 藤本 晋平
・ 柱 SC 梁 S 構造における柱梁接合部の力学特性に関する実験的研究	辻 俊之
・ CLT の普及促進に関する研究	清板 海士

岩井研究室

・ 木造二階建て洋館の筋かい壁の水平力耐荷性能実験と建物耐震診断評価	出口 誠
・ VisualBasic による横架材スパン表の汎用化	原 将成 藤田 尚也
・ 平成 28 年熊本地震による益城町の建物被害分布の GIS を用いた可視化と分析	松本 大志

- ・ GIS と DEM を用いた島根県の災害情報の検証 今岡 聡志

清水研究室

- ・ ポータブル振動台の軽量化と振動モデルの製作に関する研究 田中 優斗
山下 哲生
- ・ 広島工業大学新 10 号館補強工事におけるスリムクロス工法の施工性に関する研究 . . . 田邊 雅洋
藤井 佑樹
- ・ 開先面専用塗料を塗布した溶接部のブローホールに関する基礎的実験 川本 樹哉
坂之上泰輝
- ・ 柱梁仕口の製作の複雑さを考慮した
均等スパンの鉄骨造 8 階建物の構造性能に関する研究 篠森 直人
松原 祐太
- ・ 地震観測記録に基づくザ・広島タワーの 1 階固定モデルによる
振動シミュレーションに関する研究 木口 直弥
中田 有樹

坂本研究室

- ・ 建築材料試験のための教育補助教材の開発 高畑 翔
佐々木佑介
- ・ 真空脱水処理を行ったコンクリートの中性化に関する実験的研究 仲川 正則
森 侑世
- ・ ポーラスコンクリートの骨材飛散抵抗性の基礎特性の把握
およびその改善策に関する研究 長森 大征
野口 博孝
- ・ コンクリート打込み時に美観および表面強度を向上させるための
表面締め装置の開発 富金原 圭
山口 順平

清田研究室

- ・ 蓄熱式換気扇が室内の温熱環境に与える影響に関する基礎的研究 田中 達也
森崎 翔
沖 大機
- ・ 簡易植物工場における野菜生産のエネルギーコストに関する基礎的研究 岡田 裕矢
- ・ 感潮河川の潮位が市街地の夏季の気温に与える影響に関する研究 池田 航輝
藤川 知也
- ・ 壁面緑化に対する太陽の方位角と太陽高度が遮蔽効果に与える影響に関する研究 . . . 築山 司
- ・ 接近流がフラクタル形状日除けの表面温度に与える影響に関する研究 白田 奈々
村本 郁花
- ・ 接近流の乱流構造がフラクタル形状日除けの表面温度に与える影響に関する研究 . . . 岩田 浩樹
- ・ 外気量削減が室内温熱環境および空調に使用される電力に与える影響について 守澤 真紀

川上研究室

- ・ 風波を受ける浮体式海洋建築物模型の波浪応答実験 磯部 堅登
吉川 隼斗
- ・ 構造物の固有振動モードを用いた剛性低下部材の検出に関する基礎的研究 有村 悠人
安野 優也
- ・ 学生を対象とした構造物の振動実験における構造模型の製作と
検証プログラムの構築に関する研究 青木 琢磨
- ・ 木造ほぞ仕口における加工精度と強度性能に関する実験 石割 由耶

福田研究室

- ・ まちが見守る ―子どもを見守る地域づくりに関する研究（卒業設計） 宮野 慧子
- ・ 寺院学童保育の可能性 ―学童保育の場に関する研究（卒業設計） 山本 哲史
- ・ ログハウス学校 ―過疎地域における教育施設のあり方に関する研究（卒業設計） 木色 大輔
- ・ 自然とともに生きる ―農業に着目した全寮制高校の計画に関する研究（卒業設計） 池田 信志
- ・ 交流のかけはし ―多世代交流型商店街の計画に関する研究（卒業設計） 倉本 稔己
- ・ 「道の駅」レストステーション
―高齢者の生活支援施設としての「道の駅」計画に関する研究（卒業設計） 兼崎 晃一
- ・ 母なる川を守る環 ―市民と河川の関係性を育む拠点施設に関する研究（卒業設計） 竹原 翼
- ・ 溪流地の団地 ―環境共生型の防災まちづくりに関する研究（卒業設計） 浜田 豊海
- ・ 西国街道塾 ―歴史的資源を活用するための拠点施設に関する研究（卒業設計） 小椋 大裕
- ・ Romen ―修学旅行に着目した被爆建物の活用に関する研究（卒業設計） 北枝万里恵
- ・ 被爆樹 HOME
―観光客の滞在時間に着目した広島のリソース活用に関する研究（卒業設計） 渡邊 実

栗崎研究室

- ・ 人工土地 NEXT ～「人工土地」を活用した庁舎の建替え（卒業設計） 伊丹美美香
- ・ 木材集積群～木材振興の拠点施設の計画（卒業設計） 小笠原大貴
- ・ ロジスティクス / 建築～新しい物流システムによる湾岸空間の再生（卒業設計） 亀田 侑
- ・ スロウな地方のスマートアグリ～中山間地域の農業の再生（卒業設計） 河村 直哉
- ・ 隔離の島が未来をつくる～長島愛生園のこれから（卒業設計） 木代美乃莉
- ・ 地域の中の産業と高校～中山間地域の高校の計画（卒業設計） 久保田祥平
- ・ ここに建築をつくることの意味～特別警戒区域の土地活用計画（卒業設計） 竹之内 樹
- ・ 近代産業のまちの風景～近代遺産と彫刻を繋ぐ建築の可能性（卒業設計） 中川 皓介
- ・ 権伝馬と小さな建築～冠婚葬祭場を中心とした豊島の計画（卒業設計） 西岡佑太郎
- ・ モノがヒトを結ぶ～米子空港市場計画（卒業設計） 平尾 亮典
- ・ 「島が語る歴史」～江田島ネットワーク型博物館構想（卒業設計） 森川 雄太

向山研究室

- ・ 都市公園における公共図書館の研究（卒業設計） 大角 祐稀
- ・ 広島大学跡地再再編計画（卒業設計） 定行 桃
- ・ 現代社会における既存建築の有効的再利用についての研究（卒業設計） 大濱 翼
- ・ 地域資源を活用した公共建築の研究（卒業設計） 森廣 亮祐
- ・ 比治山公園再生計画（卒業設計） 寺本真太郎
- ・ 産業遺構と農業における地域再生の研究（卒業設計） 柴田 野愛
- ・ 人口減少期における郊外住宅地の在り方の研究（卒業設計） 太田佳菜子
- ・ 歴史的遺構の復元と都市の再編（卒業設計） 田中 一成
- ・ 衰退する重工業都市である呉の再興計画
 （造船技術と施設を利用した浮体構造物開発の可能性）（卒業設計） 寺口 宜徳





ご意見・ご要望は、こちらにお願い致します。

広工大建築会のホームページ <http://hitkenchikukai.com/>